

11 探鳥のみち

コースガイド

清流・音羽川沿いの道を上流に上っていくと、みかんとすだちの段々畑も少なくなり、スギ・ヒノキの林が続く。深い山中にひっそりと建つのは、古事記由来の神を奉祀する天岩戸別神社。さらに険しい山道を上り、標高1019mの旭ヶ丸山頂から東に広がる大川原高原に到着。天気がよければ紀伊水道まで一望でき、風力発電の風車や、春は新緑、夏は約3万本のアジサイ、秋はススキの群生に出会える。中山休憩所を経由し、杖立権現越を下り徳円寺へ。境内に湧き出る命水で喉を潤す。木々に囲まれた嵯峨川沿いの道を下り、嵯峨天一神社に着く。

距離 23.0 km	所要時間 9 時間
体力レベル 山歩きの経験がなくても長い距離を歩くことができれば楽しめる。	技術レベル コースのほとんどが舗装された車道で、歩きやすい。
スタート地点までのアクセス 「国道438号」を経由して『宮前』へ。 エスケープルート有 (MAP参照)	最寄り駅・バス停 ◎START地点 鉄道 — バス 徳島バス『森ノ宮橋』から徒歩約5分 ◎GOAL地点 鉄道 — バス 徳島バス『西ノハナ』から徒歩約25分



大川原高原からの絶景パノラマ



国道438号を横断して直進

二股の分岐は上り坂の道へ

道なりにそのまま坂を下る

徳円寺境内に続く階段で下山

コース周辺の見どころ

MAP A 天岩戸別神社



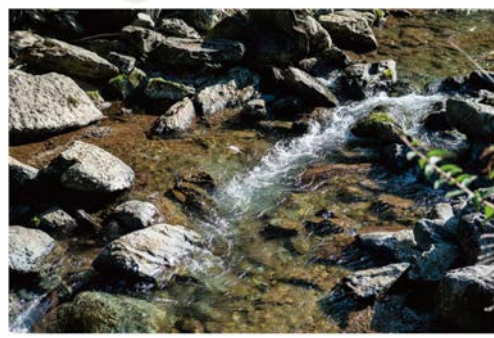
古くから三社皇太神宮とも称され、開運武運長久の守護神を祀る神社。神道における神典「先代旧事本紀」に、天岩戸伝説に登場する岩戸をこじ開けた神、天手刀雄神（あまのたちからのみこと）の降臨地と記されている。

MAP B 徳円寺



文政7年(1824年)に徳円上人により開基された浄土宗の寺。庭園には、村の花にも指定される数百本のシャクナゲが群生する。5月上旬にピンクや白の優雅な花を咲かせる様子は壮観。

MAP C 嵯峨峡



園瀬川の支流・嵯峨川の上流部にあり、神秘的な奇岩が点在する渓谷。初夏はホタルが乱舞する様子や、夏は上流部に設けられる遊泳場で子どもたちが水泳を楽しんでいる姿が見られる。

MAP D 嵯峨天一神社

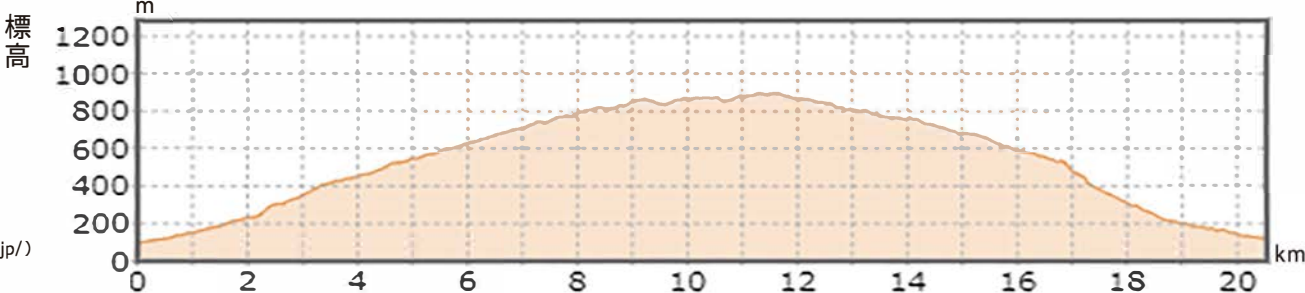


天照大神、月讀命（つきよみのみこと）、大白星神を祭神とし、佐那河内村嵯峨地区の村の祭りや行事で中心的な役割を担う場所。鳥居をくぐった先には、推定樹齢360年の大杉と大カヤがそびえ立つ。

里程表



高低差表



国土地理院地図 (https://maps.gsi.go.jp/) データを加工して作成

踏破認定写真 撮影ポイント



大川原高原にある案内板

No. 572



大川原高原の絶景パノラマを一目指す。種やかな風を感じながら、徳島県唯一の村・佐那河内村の四季折々の自然や野鳥、歴史に出会う。

徳円寺～嵯峨
宮前～大川原高原～中山休憩所～杖立権現越

女性の冒険



首領

女性の国

ウォーキングガイド

歩くときの準備について

- ・体力に合うコースを選び、行き帰りの交通手段も調べて余裕のある日程を組もう。
- ・体力や山登りの技術に自信がない方は、一部分のみを選んで歩く方法もある。
- ・天気予報に注意し、悪天候が予想される場合は無理をせず予定を変更しよう。
- ・気温に合った防寒着や、急な天候の変化に備える雨具を忘れずに。

野山を歩くときのマナー

- ・空きカンやゴミは投げ捨てたりせず、ゴミ袋に入れて持ち帰ろう。
- ・山火事の原因となるタバコの投げ捨てや焚き火は絶対にやめよう。
- ・果樹園や農園の農作物、野生動植物を傷つけたり取ったりするのはやめよう。

危険な動植物にご注意を

- ・山道には人間に危害を及ぼす生き物がいる。ハチやマムシ、マダニに注意を。

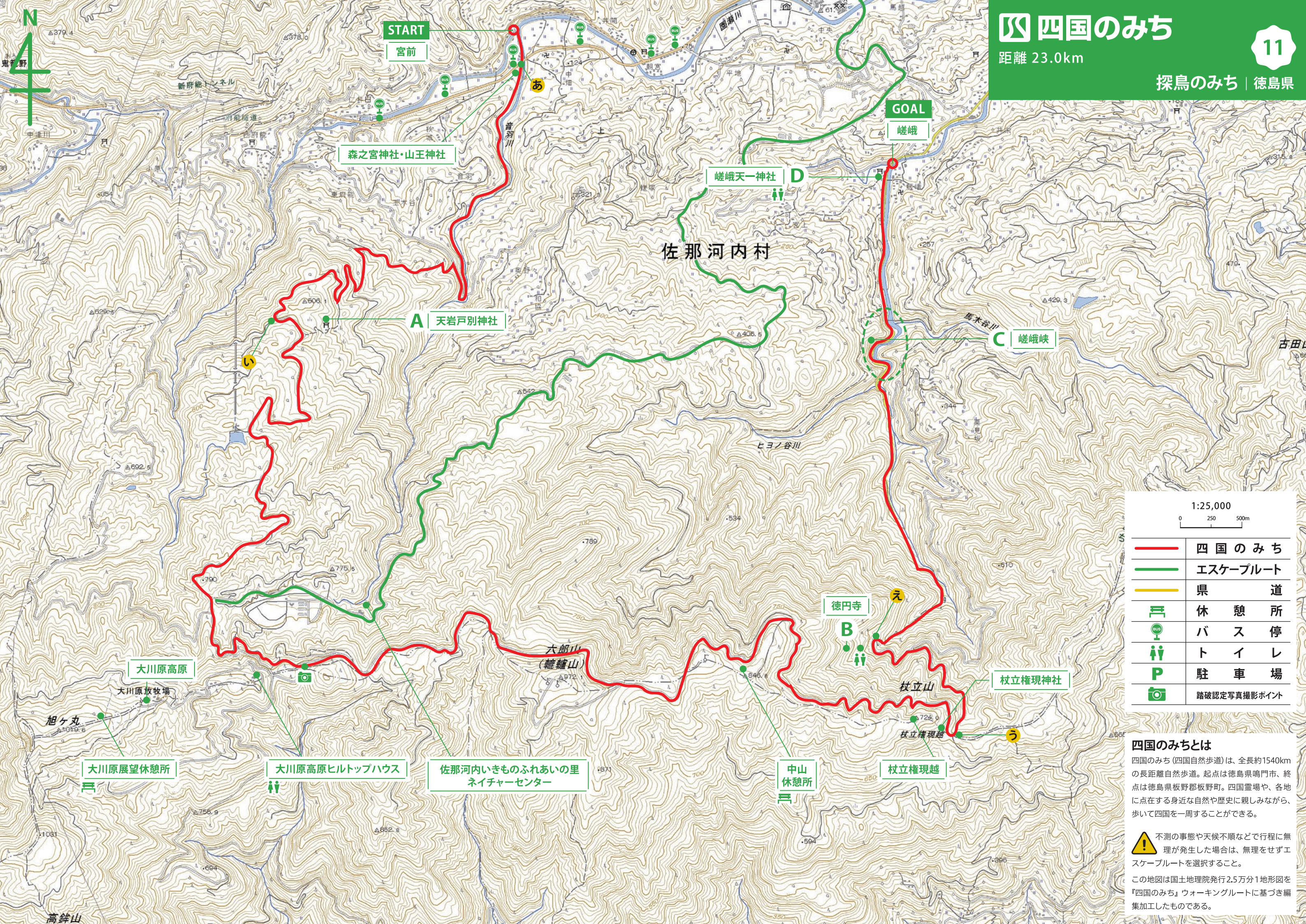
問い合わせ先

徳島県 グリーン社会推進課 088-621-2263
 佐那河内村 産業環境課 088-679-2115



コース内には案内板、道順を示す標識、文化財などの解説板、各所に休憩所を設置している。設備の破損や道の異常箇所に気付いた場合は上記の四国のみち担当課にご連絡を。

制作 2023.3



1:25,000
0 250 500m

	四国のみち
	エスケープルート
	県道
	休憩所
	バス停
	トイレ
	駐車場
	踏破認定写真撮影ポイント

四国のみちとは
四国のみち(四国自然歩道)は、全長約1540kmの長距離自然歩道。起点は徳島県鳴門市、終点は徳島県板野郡板野町。四国霊場や、各地に点在する身近な自然や歴史に親しみながら、歩いて四国を一周することができる。

不測の事態や天候不順などで行程に無理が発生した場合は、無理をせずエスケープルートを選択すること。

この地図は国土地理院発行2.5万分1地形図を『四国のみち』ウォーキングルートに基づき編集加工したものである。